

熱電対の JCSS 校正

校正結果は、ILAC/APACのMRA（相互承認取決）を通じて、国際的に受け入れられます。

■ 対象測定器

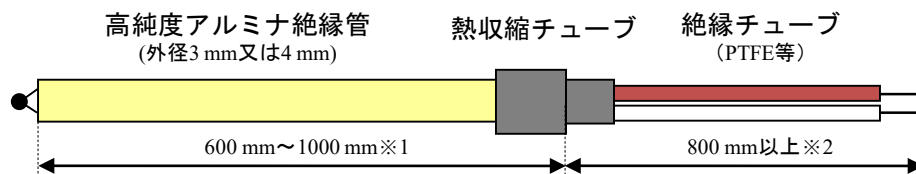
貴金属熱電対 R熱電対、S熱電対、B熱電対（定点校正、比較校正）
 卑金属熱電対 N熱電対、K熱電対、E熱電対、J熱電対、T熱電対（比較校正）

■ 校正範囲及び校正の不確かさ

種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準 約95%)
定点校正 (貴金属熱電対) ※0℃の校正においては 卑金属熱電対も可能です	インジウム点	0.10℃
	スズ点	0.10℃
	亜鉛点	0.15℃
	アルミニウム点	0.15℃
	銀点	0.25℃
	銅点	0.25℃
	パラジウム点	1.0℃
比較校正	-80℃以上 1554℃以下	0.2℃～1.8℃

熱電対の形状や種類によっては、校正できない場合があります。
 お問い合わせの際は、熱電対の種類、校正温度、形状（線径又は外径、長さ等）についてお知らせください。
 なお、定点校正の場合は、以下の条件が必要となります。

【例】 定点校正における熱電対の組立の例



※1 絶縁管は単一長であること ※2 絶縁管全長+200 mm以上、3000 mm以下
 ただし、パラジウム点の場合は素線全長が1800 mm以上

校正の不確かさは、校正範囲で一番小さなものを記載しています。

■ 校正のご利用方法



日本電気計器検定所 標準部 校正サービスグループ

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目15番7号

TEL : 03-3451-6762 FAX : 03-3451-1497

E-Mail : kousei-info@jemic.go.jp URL : <https://www.jemic.go.jp>